

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部生活環境課	■担当係	環境企画係
■評価事業名称	新エネルギー普及促進事業		
■評価事業コード	030200 - 127	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり	
	■基本施策	01 地球環境保全の推進	
	■施策	03 地球温暖化防止対策の推進	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	新エネルギーの導入を促進し、温室効果ガスの排出を抑えた低炭素社会を形成する。国・県等の補助事業を活用して、新エネルギーの公共施設等への率先導入を進めることにより、新エネルギー導入に関する市民の意識啓発を図る。公共施設に新エネルギーを導入し、北上市地球温暖化対策推進実行計画に定める温室効果ガス排出削減目標達成につなげる。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成 24 年度事業計画	平成 24 年度事業量実績
01	新エネルギー普及促進事業	市公共施設、市民、事業者		企業局クリーンエネルギー導入支援事業申請・実施1件(清掃事業所)、地域グリーンニューデール基金事業実施1件(市営駐車場照明LED化事業)、GND基金事業申請・実施1件(交流センター・北上勤体ソーラー外灯)、GND基金事業事前協議終了1件(交流センター太陽光発電設備)、大規模太陽光発電候補地紹介(県事業と連携)、説明会・研修会参加11回

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費			13	19	
人件費			2,839	3,462	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト			2,852	3,481	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	岩手県企業局クリーンエネルギー導入支援事業	さくらホール避難誘導看板及び防犯灯設置事業			清掃事業所ソーラー外灯設置事業	市町村等が地域内の公共施設に小規模なクリーンエネルギー設備を導入する場合に、岩手県企業局が設置に要する経費を支援するもの

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

02	地域グリーンニューディール 基金事業・GND基金事業		地域グリーン ニューディール 基金事業申請 2件(うち採択1 件:市営駐車場 証明LED化事 業)	地域グリーン ニューディール 基金事業(市営 駐車場証明LE D化事業)、GD N基金事業(交 流センター・北 上勤体ソーラー 外灯)	東北の被災地等において、 非常時における避難住民 の受け入れや地域への電 力供給等を担う防災拠点に 対する再生可能エネルギー や蓄電池、未利用エネル ギーの導入等を支援するも の
----	-------------------------------	--	---	---	--

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- ☐ A. 順調
- ☒ B. 概ね順調
- ☐ C. 遅れている

達成状況の分析

概ね順調に実施できている。

問題点・課題等

クリーンエネルギー導入支援事業について、平成22年度、23年度と応募がなかったことから、情報の周知に関し、工夫が必要。GND基金事業について、耐震性基準に関して県の明確な基準が示されておらず、事務遂行に遅れが生じる恐れがある。

1. 直接的な受益者の範囲

- ☐ 不特定多数に及ぶ
- ☒ 特定されるが多数に及ぶ
- ☐ 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- ☐ 大きな不利益やリスクが生じる
- ☒ ある程度の不利益やリスクが生じる
- ☐ 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- ☐ 類似の事業はない
- ☒ 類似の事業はあるが競合はない
- ☐ 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ☒ ニーズが高まっている
- ☐ ニーズは変わらない
- ☐ ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- ☐ 順位が高い
- ☒ 順位が中程度
- ☐ 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- ☐ 順位が高い
- ☐ 順位が中程度
- ☒ 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- ☐ 先進的またはユニークな事業である
- ☒ 他と同程度の事業である
- ☐ 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- ☒ 民間委託等の拡充は難しい
- ☐ 民間委託等の拡充が十分に可能
- ☐ 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- ☐ 今以上の効率化や改善は難しい
- ☒ 効率化や改善を図ることは十分に可能
- ☐ 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- ☐ I. 拡充
- ☒ II. 継続
- ☐ III. 縮小・要改善
- ☐ IV. 民間活用・協働事業化
- ☐ V. 廃止・休止
- ☐ VI. 完了

補足説明